
平成26年度第2回（第11期第2回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

平成26年8月21日（木） 午後2時00分～ 小平市庁舎 庁議室
--

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 議事
 - (1) ごみ処理基本計画の数値目標の評価について
 - (2) 一般廃棄物処理基本計画について
 - (3) 3市共同資源化事業の現況について
 - (4) 今年度の実施事業について
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

-
- 1 第11期 小平市廃棄物減量等推進審議会委員名簿
 - 2 小平市ごみ処理基本計画の数値目標の評価について（総括）
 - 3 3市共同資源化事業基本構想（案）について
 - 4 平成26年度 ごみ減量対策課関連事業の概要
-

会長
環境部長
会長
会長
事務局
会長
事務局

ただいまから、第2回の審議会を開催いたします。
はじめに、岡村環境部長からお願いします。
本日は審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。
今年は異常気象により広島では土石流による大きな被害をもたらしています。亡くなられた方、被災地の方のご冥福と一日も早い復興を祈念いたします。小平においても災害対策を決意しています。さて、今回の審議会ではごみの基本的な概要を説明させていただきます。質問やご意見など活発なご議論をお願いいたします。

続いて、事務局から配付資料の確認をお願いします。
***** 資料確認 *****

それでは、次第の「2 事務局報告」に移ります。
ごみ減量対策課長からお願いします。
今回は、第11期廃棄物減量等推進審議会の第2回目になります。
今期から新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、今回の事務局報告につきましては、直近のごみ関連のイベント等につきましてご案内させていただきます。
大きなイベントといたしましては、9月13日（土曜）10時から14時まで、中央公園、市民総合体育館、ふれあい下水道館にて「こだいら環境フェスティバル」を開催いたします。
10月11日（土曜）10時から15時まで、小平・村山・大和衛生組合にて「えんとつフェスティバル」を開催いたします。委員の皆さまのご参加をお待ちしております。

続いて、次第の「3 議事」に移ります。
事務局から説明をお願いします。
それでは、資料2「小平市ごみ処理基本計画の数値目標の評価について（総括）」の説明をさせていただきます。資料2をご覧ください。

小平市ごみ処理基本計画は、小平市における廃棄物の減量と処理に係る事業の根幹となるものとして、平成15年度（2003年度）から平成24年度（2012年度）までを計画期間として平成15年3月に策定しました。
その後、平成19年度に中間改訂を行い、平成24年度には計画期間を1年間延伸し、平成25年度（2013年度）までの計画期間としました。

平成25年度はごみ処理基本計画の最終年度にあたるため、速報値による数値目標の評価を行いました。
この書式は、本年3月に策定いたしました「小平市一般廃棄物処理基本計画」の10頁が平成24年度の数値で作成しておりましたので、これを平成25年度の速報値に修正してお示ししております。

前ごみ処理基本計画では、数値目標は表にあるように7つ設定しております。
うち2つが未達成であるものの、主要な目標としている排出物原単位を含む5つを達成しております。
こうした結果については、概ね良好なものと評価しております。

次のA3の資料については、上段では資源物混入率を除く6つの計画目標値の平成13年度からの実績量の推移をグラフでお示ししています。

下段には、表で7つの計画目標値の推移をお示ししています。

最後のA4の資料については、参考資料として多摩地域他市平均との比較を3つの数値[総ごみ量(原単位)、収集量(原単位)、持込量(原単位)]についてグラフによりお示ししています。

以上になります。

会長
委員
事務局
委員
事務局
委員

説明は終わりましたが、ご質問などあればお出しください。

持込ごみ量は基本的に事業系一般廃棄物と考えてよいのでしょうか。

基本的にそうなります。

小平市分の量を測れるのですか。

搬入者は登録されていますので、小平分として把握できます。

最終処分量について、達成率は上がっていますが、広域処理場からの割当量に対してどうですか。超過金など払っているのでしょうか。

事務局

焼却灰は割当量を超過していて、超過金を払っています。不燃物についてこれまでは割当量以内で貢献になっていましたが、25年度は超過し、超過金を払っています。

会長
委員

小平で設定する目標値とは別に、広域は広域で厳しい数値を設定してきます。

数値を達成するためにお金がかかると思いますが、どのくらい費用対効果があるのか。ごみが減りさえすればお金はどれだけかけてもいいとお考えなのかお聞きしたい。

会長

大きくは、中間処理施設の経費、広域処分場の経費、事務局経費の3つで構成されていて、経費はどれも大きく変わっていません。

委員
事務局
委員
事務局

23年度の持ち込みごみ量と最終処分量の数値が高い気がする。

震災の絡みで粗大ごみが増えていると考えます。

基本計画は25年度を目標にしていたが、1年延伸した理由は？

3市共同資源化事業の進捗が遅れていて、25年度から計画を作るより26年度から新たに計画を立てた方が具体的な計画が立てられるということで1年延伸しました。

委員

未達成の資源化の部分で、資源物混入率が計画目標値を達成すれば、収集時のリサイクル率は達成できるという見込みでしょうか。収集リサイクル率30%達成するためには新たなリサイクルを始める必要があるのか。

事務局

資源物混入率と収集時リサイクル率30%は設定当時リンクを考えていませんでした。当時の議論の中でリサイクル率30%は実現難しいだろうという見込みがありましたが、目標として高い設定をしようという審議会からの意見もあり30%になりました。

委員

30%を達成するために新たな推進事業をするのですか。

30%を達成するのは容器包装プラスチックを全量資源化しても難しいと思います。他にも事業を探らないと達成は難しいと思います。

会長

15年3月時点で30%は高い数字です。いろんな施策、生ごみの資源化や小型家電のリサイクルなど拡大していかないといけません。よその市の施策を研究し、3市とのすり合わせをして進めないといけません。

会長

次に、(2)「一般廃棄物処理基本計画について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、これより、一般廃棄物処理基本計画について、その概要を計画書に沿ってページを追って説明させていただきます。
 *** 一般廃棄物処理基本計画に沿って説明 ***

会長 ご質問などあればお出しください。

委員 3市共同資源化施設に関して他市の基本計画との比較、東大和市や武蔵村山市の基本計画はどうなっていますか。

事務局 基本的に独自に各市は基本計画を定めています。3市共同資源化事業については各市とも計画に含めて策定しています。このあとご説明しますが、3市共同資源化事業の基本構想が出来上がる予定ですので、各市の基本計画についても改訂が必要になります。

会長 各市が基本計画を作らなければいけないが、よその市とすり合わせをする必要は基本的にはない。ただ、焼却施設の関係や3市共同資源化事業のすり合わせは必要です。有料化については市長会でやりましょうと決まりましたが命令ではないので各市の判断で分かれています。

委員 計画の改定に関して、平成15年に850g/人日の目標値を立てて、平成19年に見直すときにはすでに達成されていたと思います。その段階で目標値を下げるようなことは検討されなかったのでしょうか。今回690g/人日と480g/人日の目標を立てていますが、早期に目標を達成した場合は見直さないのでしょうか。

事務局 19年度の改定時はまだ実績が出ていなくて、甘い見込みで目標数値を見直さなかったようですが、そのあとすぐに目標を達成してしまいました。新しい目標数値は中間見直しがありますので、その時に目標を達成していれば目標を見直します。

会長 次に、(3)「3市共同資源化事業の現況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、資料3「3市共同資源化事業基本構想(案)について」説明をさせていただきます。こちらは、現在、策定途中の基本構想の案になります。
 *** 資料3に沿って説明 ***

なお、資料はございませんが、これまでの経過と今後について、口頭で報告させていただきます。

この基本構想(案)につきましては、6月7日に開催した設整備地域連絡協議会にて、資源物処理施設の地域住民の代表者の方に、6月10日に開催した小平市中島町の連絡協議会で、ごみ焼却施設の地域住民の代表者の方に、それぞれ説明をいたしました。

広報関係では、6月5日号の市報に3市共同資源化事業基本構想(案)の市民意見公募の実施についての記事を掲載しました。

他の2市は、市報発行の関係から6月1日号に掲載し、小平・村山・大和衛生組合におきましては、6月16日に組合広報「えんとつ特集号」を発行しました。

そして、6月16日(月曜)から7月15日(火曜)の間で市民意見公募(パブリックコメント)を実施しました。

また、意見交換会を3市それぞれ1回、計3回実施しました。

小平市では、6月26日(木曜)午後7時から実施し、18名の参加。

東大和市では、6月28日(土曜)午前10時から実施し、49名の参加、武蔵村山市では6月28日午後2時に実施し、3名の参加でした。

	<p>その後、施設整備地域連絡協議会につきましては、7月12日（土曜）と8月9日（土曜）にも開催し、基本構想（案）に関するご意見もいただいております。</p> <p>パブリックコメントにつきましては、意見等を取りまとめ、本日付で小平・村山・大和衛生組合議員と各市議員へ取りまとめた内容を情報提供する予定でおります。</p> <p>その後、8月29日（金曜）午後2時から小平・村山・大和衛生組合において議員全員協議会を開催し、パブリックコメントの結果を報告することを予定しております。</p> <p>最終的には、いただいたご意見等を反映して基本構想を策定し、公表する予定でおります。</p>
会長	説明は終わりましたが、ご質問などあればお出してください。
委員	プラスチックの中間処理は3市で統一して行うのはよくわかりましたが、それ以外の資源化についても統一して処理するのですか。
事務局	3市共同資源化事業は元々6品目でやる予定が2品目になりました。その他の品目についてもできるかぎり統一を考えています。取り組めるものは3市で統一してやっていこうと考えています。
委員	必ず全部統一するものではないということですね。
委員	3市ごみ連絡会を作って、小平・村山・大和衛生組合に公開質問状を出していますが、その資料をみなさんに配っていいか。疑問点を整理しているのでぜひ参考にしてもらいたい。
事務局	特定の団体の考え方になりますので、審議会での配付はそぐわないと思います。
会長	3市ごみ連絡会の会報はそれぞれの団体の考え方ですので、審議会の審議とは違います。希望者がいれば個々にやりとりをしてください。
委員	3市の施設について進捗はどうか。
事務局	この計画は10年くらい前に構想ができて3市のトップが合意して進めて、周辺住民が反対して当時の東大和市長が受け入れられないとして迷走して、何年間か事業が進みませんでした。ごみ処理は広域で行うメリットが大きいため3市長で再合意をして、1年くらい前から住民説明をして進み始めました。基本構想案を早々にまとめて事業の具体化をしていきたいと考えています。
会長	東大和市から、市には廃棄物処理施設がないから、あそこの施設を利用して何かいっしょにできないかというところから始まって、東大和市長も了解して、3市の資源化施設を共同でやりましょうということになりました。ところが、東大和市長がある日突然言ったことを覆してしまいました。時間が経ったが、3市長が納得して今は進めています。これができないと小平にある焼却施設や不燃物処理施設の更新ができません。3市共同資源化施設がまずできて、他の施設が順番に進んでいきます。
委員	3市共同資源物処理施設がゼロになるということはないですね。
会長	3市の市長が約束したことを今から覆すことはないと思います。
委員	構想案の変更はあるのでしょうか。
会長	若干の修正はあると思います。
委員	一般市民の一番の関心は有料化ですが、有料化への支持率がまだ過半数行っていない。支持率を過半数にしていく工夫が大事だと思います。市としてはどんなお考えですか。
事務局	有料化はすでに答申に出ています。今の市長は選挙の時点で有料化しないと約束しているこの期間は難しいと思いますが、26市全体で有料化は効果があることの方性は出ています。有料化はごみを減らす環境が整わないと理解が難しく、軟質性

プラスチックの資源化ができるのが、3市共同資源物処理施設ができるときなので、そのときを目安に議論して一番いい形の有料化をしていきたいと事務局では考えています。

会長 資源の分別基準をきちんと定めて、初めて有料化が支持を得られるのではないでしょう。

会長 次に、(4)「今年度の実施事業について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料4に沿いまして、平成26年度ごみ減量対策課関連の主要な事業の概要について、説明申し上げます。

*** 資料4に沿って説明 ***

会長 会長 委員 事務局 委員 事務局 会長 事務局 会長 事務局 会長

なお、資料の1と5、6の事案につきましては、先ほど説明いたしました基本計画の「重点施策」に、そのほかの2、3、4の事案につきましても「個別施策」に、それぞれ記載している事項の実施というかたちでございます。

説明は終わりましたが、ご質問などあればお出してください。

ごみと資源の出し方の全戸配布とはポスティングですか。外国人には外国語版をポスティングするのですか。

それは難しいです。日本語版が入ります。外国語版は市民課などの窓口での配布となります。

全戸配布するパンフレットに、「外国語版もあります」といった旨を、一文でも外国語で表記すると効果的だと思います。

ご指摘のとおりと思いますが、申し訳ないですが、今回のパンフレットには間に合いません。次回以降、そのように検討させていただきます。

陶磁器のリサイクルに関して、差し引きの1,300kgはリユースされたのでしょうか。

ほぼそのとおりです。

いままで回収した量とリユースした分、岐阜に持って行った分はどのくらいですか。

今年の6月まで15回で12t回収しています。岐阜県で資源化するために約7t運んでいます。ただ、清掃事務所に保管している分もあります。

外国語版は希望者配布では行き渡らないので努力が必要だと思います。

廃食油の回収予定はありますか。

いまのところないです。

西東京市はやっていますがかなり大変そうです。

議事については、以上とさせていただきます。

まず、第3回目の審議会でございますが、前回の審議会では、見学を、ということでお示しておりましたが、予定を変更させていただきまして、本日と同じような、会議室での審議というかたちでお願いいたします。

会長の 事務局の 会長の

次回の開催は10月30日(木曜)になります。

ありがとうございました。

それでは、他に何も無いようなので、本日はこれで閉会といたします。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。

これにて散会とさせていただきます。